

ホソバツルリンドウ *Pterygocalyx volubilis* Maxim.

【評価理由】

個体数階級 4、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 15。全国的に希少なつる性の草本で、愛知県でも生育地、個体数ともに少ない。

【形態】

つる性の多年生草本。茎は細く、緑色で紫色を帯びない。葉は対生し、長さ 3~8mm の柄があり、葉身は披針形、長さ 2~5cm、幅 5~10mm、先端は長くとがり、辺縁は全縁、裏面は紫色にならない。花期は 9~10 月、花は葉腋に 1 個ずつつき、がく筒は長さ 1.5~2cm で 4 条の翼がある。花冠は筒状で長さ 3~3.5cm、白色で淡紫色を帯び、先は 4 裂し、裂片の間に副片はない。果実は蒴果で狭楕円形、長さ 1cm 程度である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (小林 32193, 1987-9-9)、2 豊根 (小林 40011, 1992-10-17)。西：5 稲武 (小林 32418, 1987-11-1)。ただし富山と稲武は小さい株である。4 津具 (面ノ木峠, 芹沢 38540, 1983-10-6) で採集された標本もある。

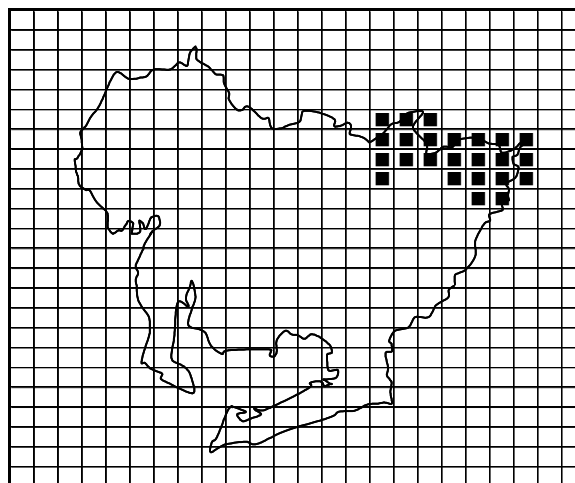
【国内の分布】

北海道、本州、四国。

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、中国大陸東北部、ウズリ一。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の林縁や草地、明るい林内などに生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

もともと散発的に出現することが多い植物で、愛知県でもどの場所も個体数が少なく、確実に観察するのは困難である。拡大造林などによって減少し、現在の状態に至っているものと思われる。

【保全上の留意点】

林縁部に生育していることが多いので、林道の整備などの際には注意が必要である。

【特記事項】

葉が細く、茎葉が紫色を帯びないことで、花がなくてもツルリンドウから区別できる。

【関連文献】

保草本 I p.218, 平草本 III p.29, 平新版 4 p.300, 環境省 p.479, SOS 旧版 p.71, SOS 新版 p.54,56.